

<(1)-2>

<p>主体者/ 連携・協力先</p>	<p>豊田市 / 鉄道：名古屋鉄道(株)、愛知環状鉄道(株)、愛知高速交通(株) バス：名鉄バス(株)、豊栄交通(株)、(株)オーフ ほか Ha:mo RIDE：トヨタ自動車(株)、ユーピーアール(株)</p>
<p>取り組み名称</p>	<p>多様かつ持続的な地域公共交通ネットワークの構築</p>
<p>取り組みポイント</p>	<p>■ (1) 地域交通の取り組み □ (2) 情報利活用の取り組み ■ (3) 生活基盤への取り組み</p>
<p>取り組み課題</p>	<p>・市町村合併により中山間地も含め広域化した市域における公共交通ネットワークの確立 ・民間企業と共働した超小型EVのシェアリングによる端末・補完交通の充実</p>

<取り組みの概要>

○経緯

- ・豊田市は、中山間地を含み900km²に及ぶ広大な自治体として、公共交通の体系的なネットワークの確立が課題
- ・鉄道、基幹バス(とよたおいでんバス)、地域バス、超小型電気自動車のシェアリング等により広域ネットワークを充実

○公共交通ネットワークにおける役割

1) 鉄道

都市形成の骨格となる基幹交通

2) 基幹バス「とよたおいでんバス」、地域バス

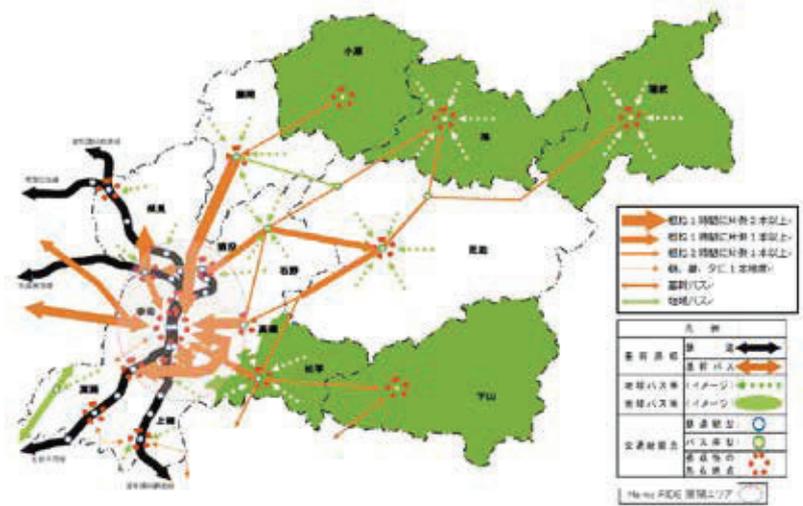
- ・基幹バス：市内各拠点を広域に結ぶ基幹交通
- ・地域バス：各地域内のフィーダー

3) 超小型電気自動車のシェアリングサービス

公共交通の端末・補完交通(民間企業との共働)

○取り組みの効果

- ・民間路線バスの撤退への代替
- ・中山間地等における移手段の確保
- ・都市地域における移手段の多様化



<取り組みポイント>

○地域交通の主な取り組み

1) 鉄道

- ・主要駅間の部分複線化と通勤時シャトル便運行(愛知環状鉄道)
- ・パークアンドライド駐車場整備(愛知環状鉄道駅周辺) ほか

2) 基幹バス「とよたおいでんバス」と地域バス

- ・市役所支所を活用したパークアンドバスライド推進
- ・バスロケーションシステムの導入
- ・評価システムの導入による運行改善
- ・ポータルサイト「みちなびとよた」運営
- ・交通結節点におけるバス発車時間待合ルールの設定
- ・住民、運行事業者、沿線施設等の参画による運行改善
- ・学校や地域でのバス乗り方教室の実施 ほか

3) 超小型電気自動車のシェアリングサービス(Ha:mo RIDE)

<実証実験：平成24年10月～平成29年3月、実運用化：平成29年4月～>

- ・鉄道、バスでカバーできない末端エリアの新たな移手段として、更に市民や来訪者などへ「クルマの町」の象徴として、多様で先進的な交通手段を民間企業との共働により提供
- ・観光拠点や地域店舗と連携した地域活性化に寄与する運用も試行を開始

○生活基盤への主な取り組み

1) 基幹バス「快速いなぶ」の運行

- ・市中心部から約45km離れた稲武地区へ直通する定期バスを運行(平成28年4月～)
- ・中山間地域における高校生の通学支援、定住促進、観光振興に寄与

2) 地域バスにおける様々な運行形態、利用促進、収入確保の取り組み

- ・市内15地域の地域バスにおける多様な運行形態(定時定路線とデマンドバス等)
- ・各地域の発案による利用促進の取組(自治会からの負担金協力による学生定期の割引、地元企業の協賛、体験乗車会開催等)

基幹バス「とよたおいでんバス」

地域バス



超小型電気自動車シェアリングサービス(Ha:mo RIDE)



豊田市移動支援ポータルサイト「みちなびとよた」



快速いなぶ